



福鍼会だより

発行 / 一般社団法人福島県鍼灸師会

2015年
10月10日

No. 121

10月4日、郡山と会津若松で鍼灸の啓発活動が行われました！

10月4日(日)郡山カルチャーパークにて『ファミリーフェスタ2015』が開催され、福鍼会会員8名が市民のみな様へ鍼灸の体験治療を行いました。

100名以上の来場者がブースに訪れ、閉会まで体験治療を提供しました。メーカーさんから提供された100セットの試供品がなくなっても鍼灸の体験希望者が来場されるほどの盛況で、大勢の鍼灸未体験者を迎えられたことは一つの成果となりました。

『ファミリーフェスタ』は鍼灸以外に医療・介護・福祉といった他職種・他団体の方々も出展されております。診療放射線技師、歯科衛生士、助産師、栄養士、介護職や行政など、日頃なかなかお会いできない方々へ、実際に鍼灸に触れて体験して理解をしてもらえる貴重な機会です。



〔鍼灸体験実施中 by 榎村由美子先生〕



〔お疲れ様でした！〕

会員の先生方はいわき、南相馬、玉川村、白河など、このフェスタのために遠くから駆けつけてくださいました。単純計算で先生お一人あたり、約13人の鍼灸体験者を受け入れ、相談に乗りながら施術をされたこととなります。日常診療でも13人と言ったら大変な数です。本当にお疲れ様でした。

先生方が熱心に取り組みされたこの活動をキッカケに、市民・県民が鍼灸の良さを理解してくださることを祈念します。

今回は参加された先生方が少なく、他団体へ足を運び、コミュニケーションを取る時間も余裕もありませんでした。来年は多くの会員のみな様のご参加を心待ちにしております。他職種と交流や見聞を広め、楽しく充実した一日を郡山で過ごしましょう！



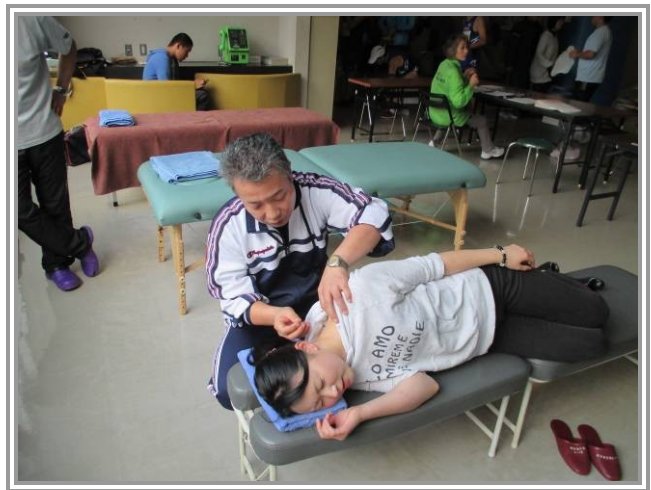
[ランナーの調整に汗を流しました]

ボランティア治療の醍醐味の一つにベテラン先生の生の治療を拝見できることが挙げられます。

レースがスタートし、少しでもゆとりが出来たスキマ時間に、三瓶真一先生(白河市)が頸肩治療をレクチャーしていただきました。モデルの関根美智先生(矢吹町)は1週間続く頸肩の強い痛み悩まされており、三瓶先生の的確な治療でみるみる良くなりました。話しかけ、弾入切皮、取穴など、勿体ぶらずに全てを見せて下さった三瓶先生の懐の深さに感服いたします。

同日(10月4日)、会津若松では『第27回鶴ヶ城ハーフマラソン大会』が開催され、福鍼会として3回目のボランティア治療をしてきました。会津、県北、県中、県南より参加された9名の先生方で活動しました。

8時20分のレーススタートに合わせ、7時30分より受付・治療開始。受付開始前から既にブースには沢山のランナーが詰めかけ、前夜の親睦会で深酒し、寝不足の各先生方にとっては非常に辛いスタートとなったのでした……。



[ベテランの妙技を見逃すな！]

レースが終わるに連れ、治療を希望されるランナーが増えます。10時を過ぎたところで予定終了時刻を上回る受付数となったため早々に受付終了。以降、12時過ぎまで真剣に、ひたすらに、ランナーの皆さんに喜んでいただけるよう治療させていただきました。

若手鍼灸師の熱い治療。ベテラン鍼灸師の静かながらも存在感のある治療。約70名のランナーには先生方の気持ちのこもった治療が届いたことと思います。



[遠くからのご参加に感謝]

今回は9名の鍼灸師の他、山内隆一先生(会津若松市)の奥様と息子さんに受付業務の一切をお手伝いいただきました。チーム山内の完璧な仕事のお陰で我々は治療に専念することができました。ありがとうございました。ハーフマラソンに出場された山内先生は無事に完走されました。治療された先生方、走られた山内先生、本当にお疲れ様でした！

